

エアコンコンプレッサー

重要

この度は、エアコンコンプレッサーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

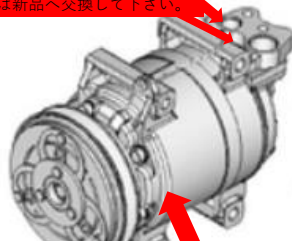
以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願いいたします。

交換作業時のご注意

【開封時の様子】

■まれに、組立工程で使用した潤滑オイルが本体から漏れだし、梱包材などが濡れている場合がありますが、性能、品質には問題ありませんので安心してご使用下さい。

Oリングは新品へ交換して下さい。



つなぎ目にオイルにじみがある場合があります。

【サービスキャップを取り外す時】

■コンプレッサー内に窒素ガス、コンプレッサーオイルが封入されていますので、サービスキャップを外す際は、徐々に緩めてオイルの噴出にご注意下さい。

【コンプレッサー内のオイル量】

■本製品にはエアコンサイクル全体の適正量を封入していますので、取り外したコンプレッサーの残存オイル量を確認し、サイクル内のオイルが適正量となるよう調整して下さい。

【車両側の関連部品】

■サイクル部品（コンデンサー、リキッドタンク、エキスパンションバルブ、エバポレーター等）の点検を行い、各部品が正常に作動することをご確認下さい。

【取り外したコンプレッサー】

■取り外したコンプレッサーの残存オイルの色が黒色化・赤色化・金属摩耗粉などの異物の混入がある場合コンプレッサー以外のサイクル内の洗浄又は交換が必要です。金属粉の量が多い場合は、各サイクル部品の交換を推奨いたします。

【取り付け】

■配管ホース内・コンプレッサー内に、ゴミ・ホコリ・サビ等入らないようにご注意ください。

→配管内・コンプレッサー内部に異物が混入した場合、詰まり・焼き付きの原因となる可能性があります。

【Oリング再使用不可】

■高圧、低圧ホースの接続に使用されているOリングは新品を使用して下さい。再利用しますと、ガス漏れ、オイル漏れの原因になる可能性があります。また、Oリング取り付けの際はコンプレッサーオイルを少量塗布し、取り付けして下さい。

■通しボルトの締付について

→通しボルトは過大トルクや不均一で締め付けますと本体にゆがみが生じ、コンプレッサー本体からガス漏れを起こす場合があります。

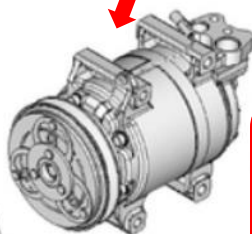
■コンプレッサーベルトの張りすぎにはご注意ください。張りすぎは本体がゆがみガス漏れや焼付きの原因になる場合があります。

■取付ブラケットに変形や破損、取り付け面に摩耗がないか、ご確認下さい。

ブラケットに変形や破損はないか。



本体がゆがみますとガス漏れの原因に。



ベルトの張り調整は各メーカーの修理マニュアルをご参照下さい。



通しボルトの締めすぎ注意

【冷媒ガス注入】

■冷媒封入時には、30分以上の真空引きを行い、冷媒の種類（R-12・134a）をよく確認の上、エアコンサイクルの適正量を充填してください。

【コアの返却】

■取り外したコンプレッサーは、オイルが漏れないようにサービスキャップをしっかり取り付け、本製品が入っていた個装箱に入れて、ご返却いただけるようお願い致します。